

令和4年度

暮らしやすく住みやすいまちづくりアンケート実施報告書

1. 概要

住民の福祉向上や子どもがいるご家庭の働きやすさ、暮らしやすさを考えるための政策や、様々な年代の方々の住みやすさを実現するための政策づくりに役立てるため、令和4年10月1日現在で、15歳以上の各世代の方の中から無作為抽出した3,500人を対象にアンケート調査を実施しました。

2. アンケートの実施方法

(1) 対象の設定・抽出方法

市内各年代の男女125名ずつの250名（令和4年10月1日現在）

(表1)

年齢	男	女	計	抽出対象者	割合
15～19	545	549	1,094	250	22.9
20～24	554	498	1,052	250	23.8
25～29	523	400	923	250	27.1
30～34	529	453	982	250	25.5
35～39	652	609	1,261	250	19.8
40～44	676	613	1,289	250	19.4
45～49	819	768	1,587	250	15.8
50～54	783	732	1,515	250	16.5
55～59	692	689	1,381	250	18.1
60～64	902	909	1,811	250	13.8
65～69	1,023	1,035	2,058	250	12.1
70～74	1,382	1,342	2,724	250	9.2
75～79	801	955	1,756	250	14.2
80～	1,433	2,790	4,223	250	5.9
計	11,314	12,342	23,656	3,500	

(2) 調査方法

暮らしやすく住みやすいまちづくりを進めるために必要な、今後取り組んだらよいと思う事業の必要度の選択、その他自由記載にて回答

令和4年度 暮らしやすく・住みやすいまちづくりアンケート調査

今後取り組んだらよいと思う事業の必要度について、あなたの思いに近いものを各項目ごとに1～5の中から1つ選んで○をつけてください。

項目		必要度				
		1 強く そう 思う	2 そう 思う	3 いど ち え な い も と も	4 そ う あ ま り 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い
1	医療・介護など福祉サービスの充実	1	2	3	4	5
2	高齢者の生きがい対策や活躍できる環境づくりに関する取り組み	1	2	3	4	5
3	外出や買い物など的高齢者の移動を支援する取り組み	1	2	3	4	5
4	女性の参画に配慮した子育て・介護・就労の支援に関する取り組み	1	2	3	4	5
5	看護師や介護福祉士等の人材の確保に関する取り組み	1	2	3	4	5
6	通学等の支援や進学に必要な資金の支援	1	2	3	4	5
7	休日保育などの子育て支援の充実や子育て・教育に関する経済的な負担の軽減	1	2	3	4	5
8	市内における学びの場を確保するための高等学校の存続支援や大学誘致に関する取り組み	1	2	3	4	5
9	子どもや若者が遊び汗を流せる公園の整備	1	2	3	4	5
10	障がい者(児)の福祉・教育の向上や行政サービスの利用者負担の軽減に関する取り組み	1	2	3	4	5
11	空き家の適正管理や有効活用に関する取り組み	1	2	3	4	5
12	移住定住に関する補助・給付制度の拡充	1	2	3	4	5
13	優良な分譲住宅地の供給に関する取り組み	1	2	3	4	5
14	新たな産業団地の整備に関する取り組み	1	2	3	4	5
15	外国人材の確保に関する取り組み	1	2	3	4	5

16	若者や就職氷河期世代の方の雇用の創出や就労を支援する取り組み	1	2	3	4	5
17	地域おこし協力隊を活用した、農林業、観光業、商工業、スポーツの支援に関する取り組み	1	2	3	4	5
18	美作岡山道路の早期完成と鳥取方面への北部延伸の整備促進	1	2	3	4	5
19	おいしい水道水を供給するための施設の更新や水道料金の統一	1	2	3	4	5
20	生涯学習や文化芸術活動の充実に関する取り組み	1	2	3	4	5
21	男女共同参画を踏まえた地域活動の担い手の確保に関する取り組み	1	2	3	4	5
22	脱炭素に向けた木質バイオマスや太陽光パネルの設置等の再生可能エネルギーの活用による取り組み	1	2	3	4	5
23	新型コロナウイルスに関する感染予防・経済対策	1	2	3	4	5

その他自由記載欄

24	その他あなたが思うコロナ禍後(アフターコロナ)を見据えた取り組むべき施策等がありましたら自由にご記載ください
25	その他上記の1～23の各項目に関するご意見や、あなたが思う地域の課題や提案される事業等があれば自由にご記載ください

(3) 回答方法

専用返信用封筒による郵送及びインターネット回答

3. 結果

(1) 回答の状況

①調査期間 令和4年11月11日から令和4年11月30日

②回答数 1,283件（うちインターネット回答234件（全体の18.2%））

男性 652件、女性 631件

③回答率 全体 36.7%、男性 37.3%、女性 36.1%

（前回 回答率 全体 39.3%、男性 36.9%、女性 41.7%）

表2が男女別、年齢別の回答数と回答率です。調査件数については、前回実施したアンケートと同数の3,500件であり、回答率は36.7%と前回との比較で2.6%減少しました。若い世代の回答率は他の年代と比較して高くはなかったものの、10代では前回実施したアンケートと比較して23.6%から30.4%へ増加するなど、一定の回答を得ることができました。

インターネット回答は全体で234件という回答数であり、49歳以下では、回答数のうちインターネット回答の占める割合が概ね30%を超えており、普段からインターネットを利用する年齢層にとっては、回答しやすい方法だったことが判断できました。一方、65歳以上の年齢層ではインターネット回答の割合が低い結果となっていますが、前回実施したアンケートで利用が無かった80歳以上の方でインターネット回答が得られる結果となりました。

（表2）

年齢	送付数(通)			回答数(件)			回答率(%)			インターネット回答数(件)			インターネット回答率(%)		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体
15～19	125	125	250	36	40	76	28.8%	32.0%	30.4%	12	11	23	33.3%	27.5%	30.3%
20～24	125	125	250	31	36	67	24.8%	28.8%	26.8%	8	11	19	25.8%	30.6%	28.4%
25～29	125	125	250	38	43	81	30.4%	34.4%	32.4%	8	15	23	21.1%	34.9%	28.4%
30～34	125	125	250	41	40	81	32.8%	32.0%	32.4%	15	11	26	36.6%	27.5%	32.1%
35～39	125	125	250	40	32	72	32.0%	25.6%	28.8%	12	8	20	30.0%	25.0%	27.8%
40～44	125	125	250	34	42	76	27.2%	33.6%	30.4%	13	12	25	38.2%	28.6%	32.9%
45～49	125	125	250	42	40	82	33.6%	32.0%	32.8%	20	7	27	47.6%	17.5%	32.9%
50～54	125	125	250	39	41	80	31.2%	32.8%	32.0%	11	12	23	28.2%	29.3%	28.8%
55～59	125	125	250	44	49	93	35.2%	39.2%	37.2%	7	6	13	15.9%	12.2%	14.0%
60～64	125	125	250	59	56	115	47.2%	44.8%	46.0%	12	5	17	20.3%	8.9%	14.8%
65～69	125	125	250	50	62	112	40.0%	49.6%	44.8%	3	2	5	6.0%	3.2%	4.5%
70～74	125	125	250	61	55	116	48.8%	44.0%	46.4%	6	1	7	9.8%	1.8%	6.0%
75～79	125	125	250	74	51	125	59.2%	40.8%	50.0%	3	0	3	4.1%	0.0%	2.4%
80～	125	125	250	63	44	107	50.4%	35.2%	42.8%	2	1	3	3.2%	2.3%	2.8%
計	1,750	1,750	3,500	652	631	1,283	37.3%	36.1%	36.7%	132	102	234	20.2%	16.2%	18.2%

(2) 各項目の結果

各項目では、取り組みの必要度について「強くそう思う」、「そう思う」、「どちらともいえない」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の5段階で設定しました。全体の回答数は表3のとおりとなりました。

(表3)

※1位が赤、2位が青

項目		強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
1	医療・介護など福祉サービスの充実	438	531	218	65	29
2	高齢者の生きがい対策や活躍できる環境づくりに関する取り組み	258	557	316	105	43
3	外出や買い物などの高齢者の移動を支援する取り組み	424	478	224	106	47
4	女性の参画に配慮した子育て・介護・就労の支援に関する取り組み	262	578	292	108	33
5	看護師や介護福祉士等の人材の確保に関する取り組み	310	548	295	88	29
6	通学等の支援や進学に必要な資金の支援	303	472	336	107	54
7	休日保育などの子育て支援の充実や子育て・教育に関する経済的な負担の軽減	264	495	358	107	48
8	市内における学びの場を確保するための高等学校の存続支援や大学誘致に関する取り組み	245	402	404	151	68
9	子どもや若者が遊び汗を流せる公園の整備	228	366	396	191	94
10	障がい者(児)の福祉・教育の向上や行政サービスの利用者負担の軽減に関する取り組み	226	551	346	102	50
11	空き家の適正管理や有効活用に関する取り組み	307	425	351	125	68
12	移住定住に関する補助・給付制度の拡充	172	440	497	118	48
13	優良な分譲住宅地の供給に関する取り組み	99	353	559	196	65
14	新たな産業団地の整備に関する取り組み	164	352	510	166	82
15	外国人材の確保に関する取り組み	52	305	669	153	96
16	若者や就職氷河期世代の方の雇用の創出や就労を支援する取り組み	337	474	312	99	42
17	地域おこし協力隊を活用した、農林業、観光業、商工業、スポーツの支援に関する取り組み	189	438	441	141	62
18	美作岡山道路の早期完成と鳥取方面への北部延伸の整備促進	341	438	330	115	50
19	おいしい水道水を供給するための施設の更新や水道料金の統一	324	521	323	70	40
20	生涯学習や文化芸術活動の充実に関する取り組み	107	416	566	125	52
21	男女共同参画を踏まえた地域活動の担い手の確保に関する取り組み	142	472	501	121	37
22	脱炭素に向けた木質バイオマスや太陽光パネルの設置等の再生可能エネルギーの活用による取り組み	152	386	499	142	96
23	新型コロナウイルスに関する感染予防・経済対策	350	497	303	85	40

※各項目の合計は未記入などがあるため一致しない

多くの項目で肯定的な意見が多い結果となりましたが、「市内における学びの場を確保するための高等学校の存続支援や大学誘致に関する取り組み」、「子どもや若者が遊び汗を流せる公園の整備」、「移住定住に関する補助・給付制度の拡充」、「優良な分譲住宅地の供給に関する取り組み」、「地域おこし協力隊を活用した、農林業、観光業、商工業、スポーツの支援に関する取り組み」、「新たな産業団地の整備に関する取り組み」、「外国人材の確保に関する取り組み」、「生涯学習や文化芸術活動の充実に関する取り組み」、「男女共同参画を踏まえた地域活動の担い手の確保に関する取り組み」、「脱炭素に向けた木質バイオマスや太陽光パネルの設置等の再生可能エネルギーの活用による取り組み」では、どちらともいえないが最も多い結果となりました。

また、「子どもや若者が遊び汗を流せる公園の整備」、「優良な分譲住宅地の供給に関する取り組み」、「新たな産業団地の整備に関する取り組み」、「外国人材の確保に関する取り組み」については、約20%が否定的な意見となりました。

表3の各項目の必要度の回答結果を見やすくするため、「強くそう思う」：+2点、「そう思う」：+1点、「どちらともいえない」：0点、「あまりそう思わない」：-1点、「そう思わない」：-2点で得点化したものが、以下の表4です。

(表4)

順位	No	項目	全体
1	1	医療・介護など福祉サービスの充実	1,284
2	3	外出や買い物などの高齢者の移動を支援する取り組み	1,126
3	23	新型コロナウイルスに関する感染予防・経済対策	1,032
4	5	看護師や介護福祉士等の人材の確保に関する取り組み	1,022
5	19	おいしい水道水を供給するための施設の更新や水道料金の統一	1,019
6	16	若者や就職氷河期世代の方の雇用の創出や就労を支援する取り組み	965
7	4	女性の参画に配慮した子育て・介護・就労の支援に関する取り組み	928
8	18	美作岡山道路の早期完成と鳥取方面への北部延伸の整備促進	905
9	2	高齢者の生きがい対策や活躍できる環境づくりに関する取り組み	882
10	6	通学等の支援や進学に必要な資金の支援	863
11	10	障がい者(児)の福祉・教育の向上や行政サービスの利用者負担の軽減に関する取り組み	801
12	7	休日保育などの子育て支援の充実や子育て・教育に関する経済的な負担の軽減	820
13	11	空き家の適正管理や有効活用に関する取り組み	778

順位	No	項目	全体
14	8	市内における学びの場を確保するための高等学校の存続支援や大学誘致に関する取り組み	605
15	12	移住定住に関する補助・給付制度の拡充	570
16	21	男女共同参画を踏まえた地域活動の担い手の確保に関する取り組み	561
17	17	地域おこし協力隊を活用した、農林業、観光業、商工業、スポーツの支援に関する取り組み	551
18	9	子どもや若者が遊び汗を流せる公園の整備	443
19	20	生涯学習や文化芸術活動の充実にに関する取り組み	401
20	22	脱炭素に向けた木質バイオマスや太陽光パネルの設置等の再生可能エネルギーの活用による取り組み	356
21	14	新たな産業団地の整備に関する取り組み	350
22	13	優良な分譲住宅地の供給に関する取り組み	225
23	15	外国人材の確保に関する取り組み	64

得点の高かったものから順番に、「医療・介護など福祉サービスの充実」、「外出や買い物などの高齢者の移動を支援する取り組み」、「新型コロナウイルスに関する感染予防・経済対策」、「看護師や介護福祉士等の人材の確保に関する取り組み」、「おいしい水道水を供給するための施設の更新や水道料金の統一」と続き、以上のとおりとなりました。

表4に年代別の得点、順位を加えたものが次の表5です。

(表5)

※各年代の1位が赤、2位が青、3位が緑

順位	No	項目	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1	1	医療・介護など福祉サービスの充実	1,284	73(1)	108(1)	115(2)	151(1)	174(2)	260(1)	279(1)	124(1)
2	3	外出や買い物などの高齢者の移動を支援する取り組み	1,126	47(13)	83(10)	98(10)	116(6)	176(1)	225(2)	268(2)	113(3)
3	23	新型コロナウイルスに関する感染予防・経済対策	1,032	71(2)	95(3)	107(6)	112(10)	121(7)	176(7)	226(5)	124(1)
4	5	看護師や介護福祉士等の人材の確保に関する取り組み	1,022	59(9)	85(7)	108(5)	113(9)	141(3)	180(4)	234(4)	102(4)
5	19	おいしい水道水を供給するための施設の更新や水道料金の統一	1,019	66(7)	85(7)	101(8)	116(6)	134(4)	180(4)	235(3)	102(4)
6	16	若者や就職氷河期世代の方の雇用の創出や就労を支援する取り組み	965	69(4)	93(4)	106(7)	116(6)	133(5)	184(3)	181(10)	83(9)
7	4	女性の参画に配慮した子育て・介護・就労の支援に関する取り組み	928	53(11)	84(9)	110(4)	120(2)	120(8)	165(8)	194(7)	82(10)
8	18	美作岡山道路の早期完成と鳥取方面への北部延伸の整備促進	905	69(4)	92(5)	100(9)	117(5)	114(10)	131(12)	183(9)	99(6)
9	2	高齢者の生きがい対策や活躍できる環境づくりに関する取り組み	882	29(18)	80(11)	72(14)	99(11)	115(9)	177(6)	215(6)	95(7)
10	6	通学等の支援や進学に必要な資金の支援	863	69(4)	98(2)	123(1)	118(4)	130(6)	127(13)	132(13)	66(13)
11	10	障がい者(児)の福祉・教育の向上や行政サービスの利用者負担の軽減に関する取り組み	801	46(14)	48(15)	93(11)	98(12)	113(11)	146(10)	172(11)	85(8)
12	7	休日保育などの子育て支援の充実や子育て・教育に関する経済的な負担の軽減	820	70(3)	91(6)	113(3)	119(3)	108(13)	144(11)	119(18)	56(17)
13	11	空き家の適正管理や有効活用に関する取り組み	778	31(17)	61(13)	68(16)	92(13)	110(12)	153(9)	193(8)	70(12)
14	8	市内における学びの場を確保するための高等学校の存続支援や大学誘致に関する取り組み	605	60(8)	23(21)	91(12)	79(14)	54(17)	90(15)	147(12)	61(15)
15	12	移住定住に関する補助・給付制度の拡充	570	24(19)	64(12)	64(18)	75(15)	69(14)	86(17)	130(15)	58(16)
16	21	男女共同参画を踏まえた地域活動の担い手の確保に関する取り組み	561	52(12)	52(14)	69(15)	58(18)	57(16)	101(14)	125(16)	47(18)
17	17	地域おこし協力隊を活用した、農林業、観光業、商工業、スポーツの支援に関する取り組み	551	37(15)	29(20)	68(16)	63(17)	65(15)	90(15)	125(16)	74(11)
18	9	子どもや若者が遊び汗を流せる公園の整備	443	55(10)	30(19)	87(13)	72(16)	44(20)	45(21)	66(21)	44(20)
19	20	生涯学習や文化芸術活動の充実に関する取り組み	401	33(16)	47(16)	49(19)	46(19)	46(19)	50(20)	83(19)	47(18)
20	22	脱炭素に向けた木質バイオマスや太陽光パネルの設置等の再生可能エネルギーの活用による取り組み	356	22(20)	22(22)	16(23)	9(23)	27(21)	63(18)	132(13)	65(14)
21	14	新たな産業団地の整備に関する取り組み	350	20(21)	41(17)	30(21)	38(20)	52(18)	52(19)	81(20)	36(21)
22	13	優良な分譲住宅地の供給に関する取り組み	225	20(21)	38(18)	35(20)	35(21)	18(22)	35(22)	20(22)	24(22)
23	15	外国人材の確保に関する取り組み	64	14(23)	17(23)	24(22)	21(22)	-4(23)	0(23)	-5(23)	-3(23)

※カッコ内は年代別の順位

各項目の年代別必要度と順位を表したものです。

全体で1位となった「医療・介護など福祉サービスの充実」については、30代及び50代を除く全ての年代で1位でありました。また、それに続く上位のものとして全体で2位となった「外出や買い物などの高齢者の移動を支援する取り組み」は、特に50代～80代以上で高い結果となりました。さらに、全体で3位となった「新型コロナウイルスに関する感染予防・経済対策」については、10代～30代の若い年代と、70代～80代以上の高齢の年代で高い結果となりました。全体で4位となった「看護師や介護福祉士等の人材の確保に関する取り組み」については、特に50代以上の年代で関心が高い結果となりました。

10代～40代の若い年代では、「新型コロナウイルスに関する感染予防・経済対策」のほか、「休日保育などの子育て支援の充実や子育て・教育に関する経済的な負担の軽減」、「通学等の支援や進学に必要な資金の支援」が上位となり、若年世代と子育て世代の教育や子育てへの関心やニーズの高さが判断できる結果となりました。

また、全体で5位となった「おいしい水道水を供給するための施設の更新や水道料金の統一」は50代～80代以上で高い結果となりましたが、その他の年代でも比較的上位となっており、生活に直結する項目の必要度が高い結果となりました。

さらに、全体順位で6位であった「若者や就職氷河期世代の方の雇用の創出や就労を支援する取り組み」については、60代までの年代で上位となり、若年世代や就職氷河期世代のほか、若い年代の親の年代の関心も高い結果となりました。

全体順位で7位であった「女性の参画に配慮した子育て・介護・就労の支援に関する取り組み」については、子育て世代、介護人材、安定した就業等に関係する30代と40代の高さが判断できる結果となりました。

「外国人材の確保に関する取り組み」については全体の23位であり、特に50代以上で低い結果となりました。

表4に地域別（旧市町村単位）の得点、順位を加えたものが次の表6です。

（表6）

※各年代の1位が赤、2位が青、3位が緑

順位	No	項目	全体	勝田	大原	東粟倉	美作	作東	英田
1	1	医療・介護など福祉サービスの充実	1,284	138(1)	161(1)	44(3)	516(1)	288(1)	137(1)
2	3	外出や買い物などの高齢者の移動を支援する取り組み	1,126	110(5)	148(2)	43(4)	457(2)	240(2)	128(2)
3	23	新型コロナウイルスに関する感染予防・経済対策	1,032	109(6)	126(7)	37(8)	438(3)	203(5)	119(4)
4	5	看護師や介護福祉士等の人材の確保に関する取り組み	1,022	98(9)	130(5)	38(6)	420(5)	214(3)	122(3)
5	19	おいしい水道水を供給するための施設の更新や水道料金の統一	1,019	112(3)	120(8)	29(12)	432(4)	208(4)	118(5)
6	16	若者や就職氷河期世代の方の雇用の創出や就労を支援する取り組み	965	105(7)	132(3)	48(2)	378(6)	188(9)	114(7)
7	4	女性の参画に配慮した子育て・介護・就労の支援に関する取り組み	928	112(3)	110(9)	35(9)	378(6)	195(7)	98(9)
8	18	美作岡山道路の早期完成と鳥取方面への北部延伸の整備促進	905	90(11)	130(5)	39(5)	373(8)	189(8)	84(12)
9	2	高齢者の生きがい対策や活躍できる環境づくりに関する取り組み	882	103(8)	110(9)	24(15)	350(9)	203(5)	92(11)
10	6	通学等の支援や進学に必要な資金の支援	863	116(2)	131(4)	51(1)	316(12)	154(13)	95(10)
11	10	障がい者(児)の福祉・教育の向上や行政サービスの利用者負担の軽減に関する取り組み	801	79(12)	99(13)	28(14)	338(10)	188(9)	69(13)
12	7	休日保育などの子育て支援の充実や子育て・教育に関する経済的な負担の軽減	820	97(10)	106(11)	38(6)	324(11)	155(12)	100(8)
13	11	空き家の適正管理や有効活用に関する取り組み	778	67(14)	101(12)	29(12)	291(13)	173(11)	117(6)
14	8	市内における学びの場を確保するための高等学校の存続支援や大学誘致に関する取り組み	605	65(15)	97(14)	32(11)	227(15)	130(15)	54(16)
15	12	移住定住に関する補助・給付制度の拡充	570	64(16)	80(15)	22(17)	211(16)	128(16)	65(14)
16	21	男女共同参画を踏まえた地域活動の担い手の確保に関する取り組み	561	76(13)	63(18)	34(10)	201(17)	133(14)	54(16)
17	17	地域おこし協力隊を活用した、農林業、観光業、商工業、スポーツの支援に関する取り組み	551	52(18)	72(16)	13(20)	251(14)	111(17)	52(18)
18	9	子どもや若者が遊び汗を流せる公園の整備	443	52(18)	67(17)	24(15)	137(19)	111(17)	52(18)
19	20	生涯学習や文化芸術活動の充実に関する取り組み	401	54(17)	38(20)	19(18)	134(21)	98(19)	58(15)
20	22	脱炭素に向けた木質バイオマスや太陽光パネルの設置等の再生可能エネルギーの活用による取り組み	356	36(20)	46(19)	18(19)	147(18)	86(20)	23(22)
21	14	新たな産業団地の整備に関する取り組み	350	34(22)	38(20)	12(21)	135(20)	82(21)	49(20)
22	13	優良な分譲住宅地の供給に関する取り組み	225	35(21)	28(22)	6(22)	69(22)	55(22)	32(21)
23	15	外国人材の確保に関する取り組み	64	7(23)	10(23)	4(23)	18(23)	33(23)	-8(23)

※カッコ内は地域別の順位

各地域ともに全体順位とあまり差がない結果となり、全体で1位であった「医療・介護など福祉サービスの充実」と、それに続くものとして2位であった「外出や買い物などの高齢者の移動を支援する取り組み」については、一部地域を除き全体順位とあまり差が無い結果となりました。

全体順位で3位であった「新型コロナウイルスに関する感染予防・経済対策」については、特に美作地域で3位、全地域で上位となり、継続的な対策への関心度の高さが判断できる結果となりました。

全体順位で4位であった「看護師や介護福祉士等の人材の確保に関する取り組み」については、作東地域、英田地域で3位、全地域で上位となるなど、不足する医療介護人材の確保支援の必要度が判断できる結果となりました。

「若者や就職氷河期世代の方の雇用の創出や就労を支援する取り組み」については、大原地域で3位、東栗倉地域で2位と、若者の地元離れが進む山間地域での危機感の高さがうかがえる結果となり、「美作岡山道路の早期完成と鳥取方面への北部延伸の整備促進」についても、大原地域と東栗倉地域で上位となりました。

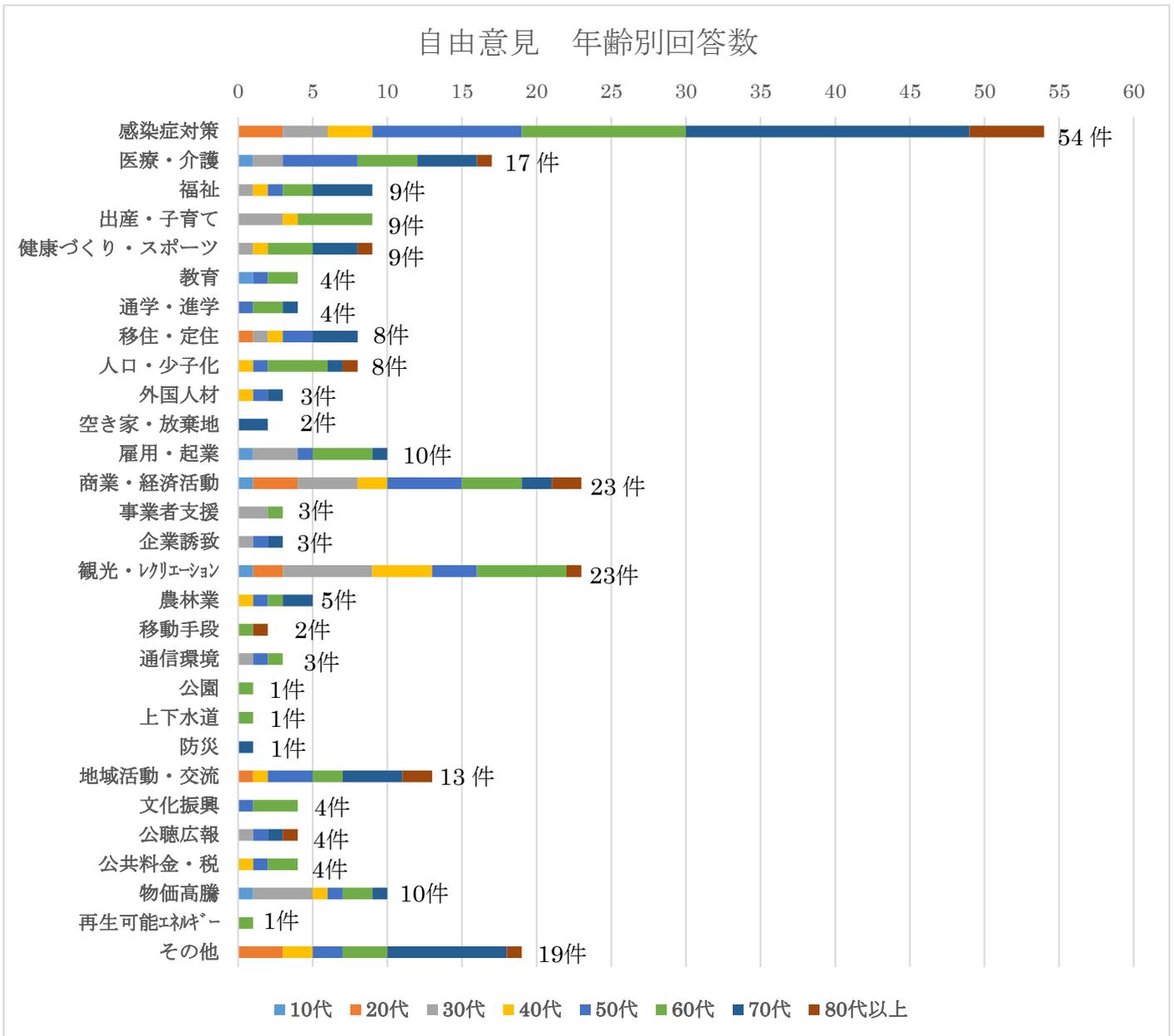
「通学等の支援や進学に必要な資金の支援」については、勝田地域で2位、大原地域で4位、東栗倉地域で1位となり、学校までの距離が遠いことによる負担に対する支援について必要度が判断できる結果となりましたが、比較的學校までの距離が近い英田地域、美作地域、作東地域では10位から13位と低くなる結果となりました。

(3) その他自由記載の結果

以下は、項目24、25としてお尋ねした自由記載の結果です。各分野やご意見の中で用いられた用語に配慮して40の分野等に分類し、回答数を年代別にグラフにしました。同一の意見が複数の分類に該当した場合は、意見の内容を分類に区分したり、重複するなどして集計しています。

なお、項目24については、全40の分類のうち、「人材育成」、「地域おこし協力隊」、「男女共同参画」、「公共施設・用地」、「住宅」、「道路・河川」、「ゴミ・生活環境」、「図書館」、「庁舎」、「市議会」、「アンケート」の分類に対するご意見はありませんでした。

④コロナ禍後（アフターコロナ）を見据えた取り組むべき施策等



この項目には延べ257件のご意見をいただきました。分野別や用いられた用語により分類し集計しているため単純な比較は出来ませんが、分類ごとにいただいたご意見のうち、回答数の多いものの上位は次のとおりとなりました。

【回答数が多かった分類】

1位	感染症対策	54件
2位	商業・経済活動	23件
2位	観光・レクリエーション	23件
4位	医療・介護	17件
5位	地域活動・交流	13件

※「その他」を除く。

「感染症対策」の分類については、今後感染症対策の緩和が想定される新型コロナウイルス感染症に対して、ワクチン接種や検査の負担軽減等に関するものや、感染防止対策の継続を求める意見が多く寄せられ、後遺症や医療機関での対応に対する不安の意見も見受けられました。一方で、新型コロナウイルス感染症の対応の緩和を求める意見もありました。

「商業・経済活動」の分類では、地域経済の回復のための商品券等の発行や給付制度を求める意見が大半となり、長引くコロナ禍の影響による経済活動の活性化を求める意見が多く寄せられました。

「観光・レクリエーション」の分類では、湯郷温泉を中心とした観光推進に関する意見が多く、観光客を呼び込むための魅力ある観光地整備・推進を求めるものが多く寄せられました。また、コロナ禍により自粛・制限されていたイベント等の開催を望む意見も寄せられました。

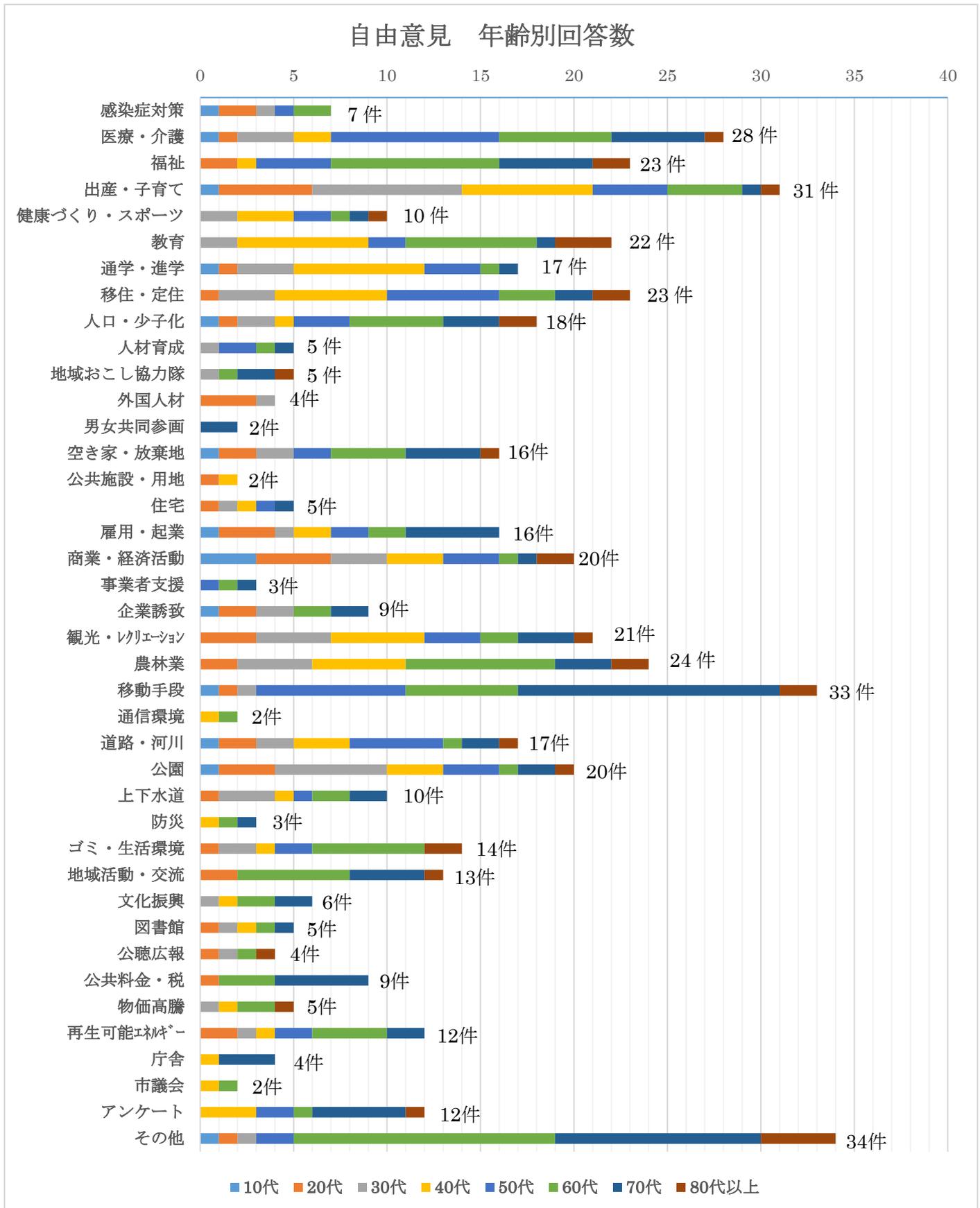
「医療・介護」の分類では、医療・介護体制のさらなる充実、新型コロナウイルス感染症に対する医療機関の対応についての意見のほか、医療従事者の処遇を改善する支援等の必要性に対する意見も多く寄せられました。

「地域活動・交流」の分類では、長引くコロナ禍の影響で自粛されていた地域の行事や活動の再開を望む意見が多く寄せられ、集落内での住民との交流や環境づくりに関する意見も寄せられました。

そのほか、「雇用・起業」の分類では、働き方の改革、若い世代への起業や就労支援、「物価高騰」の分類では、光熱水費や食品等の高騰に対する支援、「福祉」の分野では、収入が減少した困窮世帯への支援、「健康づくり・スポーツ」の分類では、感染症対策に配慮した健康寿命の延伸のための体操や健康対策事業の実施、高齢者スポーツや集いの場、「移住・定住」及び「人口・少子化」の分類では、学校を卒業した若者世代への就労の場所の確保や子育て世代への環境整備等、その他の分野にも幅広いご意見が寄せられました。

「その他」については、分類ができないものや市政全般に対して主に寄せられた意見としました。

②各項目に関するご意見や、あなたが思う地域の課題や提案される事業等



この項目には延べ516件のご意見をいただきました。分野別や用いられた用語により分類し集計しているため単純な比較は出来ませんが、分類ごとにいただいたご意見のうち、回答数の多いものの上位は次のとおりとなりました。

【回答数が多かった分類】

1位	移動手段	33件
2位	出産・子育て	31件
2位	医療・介護	28件
4位	農林業	24件
5位	福祉	23件
5位	移住・定住	23件

※「その他」を除く。

「移動手段」の分類については、主に医療機関や買い物への交通手段について、公共交通機関の整備や利用しやすいバスやタクシーなど、多くの意見が寄せられました。また、高齢者の免許返納後の交通手段の確保について心配する意見も見受けられました。

「出産・子育て」の分類では、子どもの遊び場や子育てをサポートする施設、子育て世代へ経済的な支援、ひとり親世帯への支援、子育てをしやすい環境整備など、多くの意見がありました。また、不妊治療の助成制度の拡充に対する意見も寄せられました。

「医療・介護」の分類では、介護サービスや施設の充実、医療体制の確保についての意見等が多く寄せられました。また、介護従事者や医療従事者の確保や処遇の改善に対する支援等についても多くの意見がありました。

「農林業」の分野では、持続可能で「儲かる」農林業へのシステムの構築、後継者不足に関する若い世代の担い手の確保、従事者や新規就農者に対する継続的な支援等について、特に多くの意見があり、耕作放棄地の管理や活用、獣害被害への対策についての意見も寄せられました。また、森林環境税を活用した市内の木材利用の拡大と商業施設や観光施設への木材利用の推進、バイオマスエネルギーなどの森林資源の利用についての意見もありました。

「福祉」の分類では、障がい者（児）に対する居場所づくりや雇用の確保、教育の支援等についての意見等が多く、高齢者世帯に対する買い物支援や居場所づくりについても多くの意見が寄せられました。また、日常生活全般においての高齢者世帯の生活不安に関する意見もありました。

「移住・定住」の分類では、若者世代に対して、工場誘致や農林業等の後継者対策等による雇用の確保、出産・子育て支援、定住促進等を求める意見が多く寄せられました。また、学校卒業後に子どもが美作市へ帰郷するための魅力あるまちづくりを求めるものや、あらゆる方策を打って若者が地域に残るようにしてほしいという意見も見受けられました。

「教育」の分類では、教育に対する予算の拡充、教育格差の是正、教育に関わる人材の確保、不登校の子ども居場所づくり、中学校の統合や小中学校の再整備、中高一貫校の整備等、大学誘致、教育環境に関する様々な意見が寄せられました。また、「通学・進学」の分類では、通学や進学に対する金銭的支援、通学に対する交通手段の拡充や存続、進学先の選択肢の減少、林野高等学校の存続等についての意見が多く寄せられました。

「公園」の分類については、子育て世帯からの大型の公園整備を求める意見のほか、各地域へ小規模でもいいので遊具がある公園が欲しいというもの、既にある各地の公園の再整備を求めるもの等、多くの意見が寄せ

られました。

「観光・レクリエーション」の分類では、湯郷温泉の活性化のほか、武蔵の里や古い街並みの再整備、キャンプ場の整備、岡山国際サーキットの活用等、市内の観光資源の再整備や活用を求める意見が寄せられました。また、集客について、SNS等を活用したPRの活用の推進を求める意見もありました。

「商業・経済活動」の分類では、大型商業施設の誘致、山間地域への買い物ができる商業店舗等を求める意見等が多く、若者が集まれる場所の整備等を求める意見もありました。

「雇用・起業」、「企業誘致」の分類では、ほとんどが若者の働く場所がないという意見であり、大型商業施設や優良企業の誘致による雇用の場の確保を求める意見が多く寄せられました。また、高齢者の雇用の場の確保、介護従事者や保育士等の雇用環境に関する意見もありました。

「地域活動・交流」の分類では、人口減少や高齢化による地域活動や地域役員の担い手不足や地域行事の減少等に対する行政の支援を求める意見が多く寄せられました。

「健康づくり・スポーツ」の分類では、健康寿命の延伸に資するフレイル予防や健康プログラムの実施等の体制整備、湯郷ベルへの支援やラグビーサッカー場の整備、岡山国際サーキットの支援やモータースポーツによる街おこし等についての意見がありました。

日常生活に直接関係するものとしては、「道路・河川」の分類では、美作岡山道路の早期完成と北部延伸、地域道路や歩道の整備や街灯の設置、「上下水道」の分類では、水道料金の減額や水道水の異臭対策、「ゴミ・生活環境」の分類では、高齢者の粗大ごみ処理や豊かな自然の保存、「公共料金・税」、「物価高騰」の分類では、高齢者や子育て世代からの税負担や公共料金の軽減や支援等、様々な意見が寄せられました。

その他、「再生可能エネルギー」の分類では、主に太陽光パネルの設置に関して、豊かな自然の保存への懸念や災害発生の不安に対する意見が寄せられ、太陽光パネル税への理解や森林資源を利用した木質バイオマスに関する意見もありました。また、「その他」については、分類ができないものや市政全般に対して主に寄せられた意見としました。

4. 総括

今回のアンケートでは市民が様々な分野の政策に対して、その必要度について主に調査させていただきました。その中で各年代や地域により求められている政策、地域や年代関係なく求められている政策が数字やご意見として示されたことは、美作市の今後の各政策に対する需要を把握する上で、大変貴重な判断材料として確認することができました。

アンケート項目以外でも770件を超える自由意見を得ることができ、アンケート項目の結果に加え、自由記載欄でいただいた貴重なご意見を元に、今後の政策の立案に活用させていただくこととします。